

平成21年1月21日

評議員会浅沼会長挨拶

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。

日頃より、本会の事業活動に深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げますとともに本年も何卒よろしくお願いいたします。

さて、我が国経済は未曾有の危機に直面しており、特に米国発の金融市場の混乱は、百年に一度といわれる世界的金融危機に発展し、我々建設業界においても多大なる影響を受けております。特に金融機関の融資姿勢の厳格化や不動産市況の低迷により、地域を支えた老舗といわれる建設企業を含め、多くの会員企業が倒産・廃業に追い込まれるという非常に厳しい状況が続いております。

公共投資の先行きについても国、地方の予算状況などから、引き続き低調に推移していくことが予想され、我々建設業にとっては引続き厳しい1年になることが懸念されます。

本会といたしましては、昨年11月に国土交通大臣に、12月には細田幹事長をはじめ自民党四役に対し、公共事業関連予算の大幅増額をはじめ、総合評価方式の充実や企業の資金繰り対策等について要望をいたしました。

今こそ過去の因習に囚われることなく、本業の底力を再生し、厳しい時代を勝ち抜ける体質への転換をはからなければなりません。

自然災害の多発する我が国において、国民の安全・安心を守る防災・減災対策を推進するため、計画的な社会基盤整備は必要不可欠であり、新たな防災対策や治山治水対策等が急務となっております。地域の安

全・安心を担う建設業がその地域に存在することは、地域住民、市民にとって非常に心強いものであると考えます。国民の安全・安心の確保はもとより、日本の国際競争力の維持向上のための魅力ある都市創り、環境保護・修復・改善への取組み、そして老朽化する社会資本の維持・管理・改修等、我々建設業界の果たす役割は大変重要であり、その役割は今後とも変わることはありません。

我々自身、今後も引続き、法令遵守はもちろんのこと、安全対策、環境対策等、社会から求められているニーズに対応すべく、コンプライアンスの徹底と企業の社会的責任への取組みを一層強化し、安全で品質に優れたものをつくり、国民・社会から信頼される業界となるよう、努力しなければなりません。同時に、我々建設業の果たしてきたこと、果たしている役割、そして将来果たすべき使命を積極的にPRしていくことも必要であります。

本会といたしましては、今年も建設業の社会貢献とイメージアップ活動等の推進、法令遵守の徹底と企業の社会的責任への対応、社会資本整備の推進に関する予算要望、適正な入札契約制度への対応、厳しい雇用情勢に対応した雇用対策と労働災害防止対策の推進等、様々な課題について積極的に取組んでまいり所存であります。

また、公益法人制度改革への対応については、各協会とも非常ごに苦勞されていることと思いますが、互いに情報を共有しながら、一番良い方向に進めるよう対応してまいりたいと存じます。

厳しい状況下ではありますが、建設業界が活力ある業界となるよう、また、そのために我々47都道府県協会および会員企業が一致団結して前向きに取り組めるよう、精一杯努力してまいり所存ですので、皆様方の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後に、今年一年が皆様方にとって飛躍の年となりますよう心より祈念いたしまして新年のご挨拶といたします。